

アンゴラなどで、 「黄熱」が流行しています！



2015年12月以降、アフリカ南部アンゴラを中心に
黄熱の患者が多数報告されています。

現在、黄熱対策の強化が行われており、流行国に加え、
その周辺国においても、入国の際に、
黄熱の予防接種証明書（イエローカード）
の提示を求められる場合があります。

渡航される方は、最新の情報を確認してください。

詳しくは → 検疫所ホームページ FORTH
<https://www.forth.go.jp/useful/yellowfever.html>

FORTH 黄熱



黄熱とは…

黄熱ウイルスを持った蚊がヒトを吸血することで感染します。
流行国やその周辺国へ渡航する際は、渡航の10日前までに、
黄熱の予防接種をすることで予防が可能です。

【黄熱の症状】

主に**発熱、頭痛、寒気**などの症状が見られます。さらに、一部の患者で重症化し、適切な治療を行わないと**死に至る場合があります。**

流行国に渡航される方へ

<渡航中の注意事項>

- ・その他の蚊を媒介とする感染症（デング熱など）の流行もみられます。
- ・長袖、長ズボンの着用や、定期的に蚊の忌避剤（虫除けスプレーなど）を使用するなどして、蚊に刺されないように注意してください。

<帰国時の注意事項>

- ・蚊に刺されたことだけで過度に心配する必要はありませんが、渡航中に蚊に刺されたなど、心配なことや発熱などの症状のある方は、検疫所にご相談ください。



2016年5月19日時点の流行国